

倉敷平成病院 総合美容センターだより

Vol.9 発行:2013年6月1日 倉敷平成病院総合美容センター



今年も暑い季節になって参りました！この時期に気になってくるのが、ワキの臭いやワキ汗…。美容センターでも、ワキの臭いや汗が多いというご相談を多くいただきます。

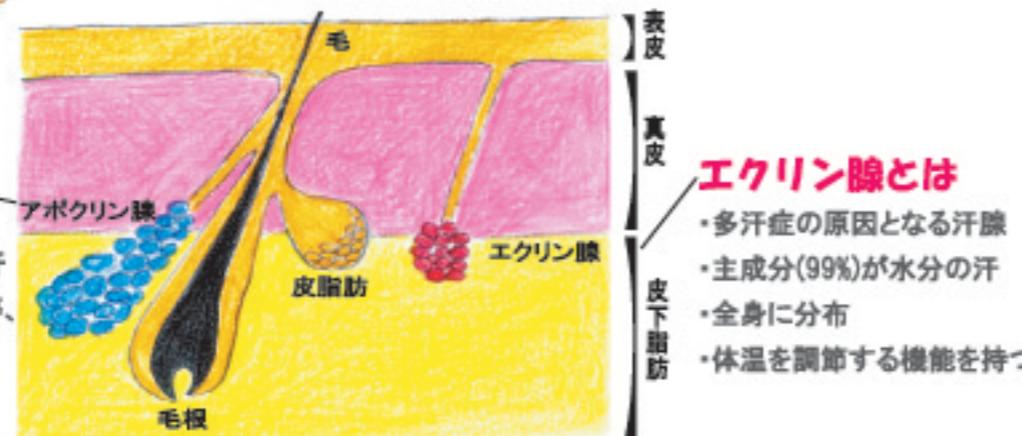
そこで、今回は腋臭症・多汗症についての特集です。



ワキの構造

アポクリン腺とは

- ・腋臭症の原因となる汗腺
- ・脂肪、鉄分、アンモニア等を含む汗
- ・ワキの下、陰部、肛門、耳の後ろ等、特定の部位に存在



エクリン腺とは

- ・多汗症の原因となる汗腺
- ・主成分(99%)が水分の汗
- ・全身に分布
- ・体温を調節する機能を持つ

腋臭症(ワキガ)について

腋臭症は、ワキの下のアポクリン腺から分泌される汗が原因で強い臭いを発する状態のことを言います。このワキ汗自体が特に臭いが強いわけではなく、アポクリン腺から分泌された汗が皮脂腺から分泌された脂肪分やエクリン腺から分泌された汗と混ざり、それが皮膚やワキ毛の常在細菌により分解されることで特有の悪臭を発生させます。

アポクリン腺から分泌された汗は乳白色がかった色で、衣服の黄ばみや、汗じみの原因となることもあります。

治療法－腋臭症手術

「汗くささ」「体臭」はある程度どなたにも存在します。「腋臭症」と診断するためには、シャワーを浴びず、制汗剤などを使用していない状態でのワキの臭いで判断します。

手術の適応となった場合、当院では腋臭症の原因であるアポクリン腺の除去の手術(皮弁法)を局所麻酔で行っています。傷跡が目立たなくなるように、ワキのしわに沿って皮膚を切り、皮膚の裏側にあるアポクリン腺を取り除いていきます。

手術後はワキをしっかりと固定し、動かさないように安静を保つ必要があります。



多汗症について

多汗症とは、エクリン腺から分泌される汗が必要以上に多い状態のことを言います。衣服がぐっちょり濡れて常に身だしなみが気になる、寒暖に関わらず緊張すると汗が吹き出てしまうといった症状があれば、多汗症の可能性は高くなります。原因は、精神的な要因であるストレス、緊張、不安やホルモンバランスの崩れ、食生活、タバコやカフェインの過剰摂取などが考えられていますが、不明であることがほとんどです。

治療法－ボトックス治療

多汗症の場合、ワキにボトックスを注射することで、交感神経から汗腺への刺激の伝達をブロックし、汗の量を抑制します。

治療は両ワキで約10分程度で、注射時のチクチク感はありますが、腫れはほとんどなく、注射当日からシャワーも可能になります。個人差はありますが、効果は4~6ヶ月持続します。現在、重症の場合、医師の診察・判断のうえで保険適応となります。

ヒアルロン酸注入「ヴィタール」登場

- ・「ヴィタール」はヒアルロン酸の中でも最も粒子が小さく、皮膚の浅い所にまんべんなく注入し、肌内部の活性化・ボリュームアップ・皮膚の保湿といった、肌が老化前のコンディションと機能を取り戻すよう働きかけます。目元のしわ、頬のたるみ毛穴やハリ不足、また首、手の甲など皮膚が薄く年齢の出やすい部分に対して即効性があり、効果的です。
- ・2週間ごとに3回程度続けるとより効果的で、約6ヶ月～1年持続します。



更年期障害

- ・『ほてり・のぼせ・動悸・多汗・むくみ・冷え・イライラ』このような症状を感じられたことはありませんか？
- ・40代半ば頃から卵巣の機能が衰え始め、卵巣から分泌されている女性ホルモン(エストロゲン)の量が減少する閉経を迎える前後の期間に更年期障害は起こりやすいと言われています。当院では、内服薬・貼り薬・塗り薬などを用いたホルモン補充療法などを行っております。更年期障害の症状を自覚した場合は、まずは婦人科での受診をオススメします。

